

平成28年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞者の概要

北陸農政局長賞

ザ・そんぼ^む夢^{そう}創の会

(石川県羽咋郡志賀町)

隣接集落が連携して大規模な緩衝帯を整備し、イノシシ被害を大幅に軽減した取組

主な取組

- 志賀町^{そんぼ}尊保・阿川^{あこう}地区の全住民が参加する村づくりの団体「ザ・そんぼ夢創の会」は村おこし活動が盛んであり、イノシシによる農作物被害の発生に際し、速やかに被害対策体制を確立した。
- 平成27年度に、住民が作業に従事して集落周辺の林地を連続した緩衝帯として整備し、イノシシを寄せ付けない環境を整備するとともに、緩衝帯に沿って電気柵を設置し、人里への侵入防止効果を向上させた。捕獲活動の推進も加わり、農作物被害を減少させた。
- 本取組は地域住民相互の結びつきを一層強め、集落が連携する被害対策の優良事例として、周辺地域への波及が期待される。

平成28年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞者の概要

北陸農政局長賞

しもいちちようじちかい
下市町自治会

(福井県福井市)

けもの道に遊歩道を敷設し電気柵を設置することで、人とけものとの棲み分けを図る取組

主な取組

- ・ 下市町自治会は、福井市鳥獣被害対策実施隊等が開催する研修会への参加や専門家からの助言を通じて、地域に適した鳥獣害対策を検討してきた。
- ・ 平成27年度に、集落活動により山裾のけもの道に沿って約1,000mの遊歩道を整備し、道沿いに電気柵を設置することにより、「人とけものとの棲み分け」を実現させた。
- ・ 自治会では非農家を含む全世帯で電気柵の点検を週2回程度行うとともに、山際の藪の刈払い、水稻の2番穂のすき込みや放棄野菜等の除去にも取り組み、捕獲活動の推進と相まって、平成23年度以降農作物被害の報告は無い。
- ・ 本取組は生息環境管理に関する新たな手法を含み、集落ぐるみで被害対策に取り組む優良事例として、周辺地域への波及が期待される。

平成28年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞者の概要

北陸農政局長賞

ごうだにちよう合谷町鳥獣害対策協議会、みなみえもり南江守鳥獣害対策協議会

(福井県福井市)

隣接集落が自ら連携して活動範囲を拡大する地域ぐるみの取組

主な取組

- ・ 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーや県の指導を得て、電気柵の設置場所をほ場周辺から山際に移動させて草刈り等の維持管理を軽減させるとともに、点検記録を日誌化して点検情報を共有した。また、両地区に挟まれた山地部でのイノシシの捕獲活動を連携して実施した。
- ・ 女性グループ約10名が山際を歩く「イノシシ撃退ウォーク」を毎月開催するなど、獣に警戒心を持たせる取組を行うとともに、地元大学との連携、他地区への出張講演等により、鳥獣害対策をPRした。
- ・ 農産物被害の発生を抑制しながら、隣接する他の集落に連携を呼びかけて、被害対策を面的に拡大しつつある優良事例として、周辺地域への波及が期待される。